

資料1



区の鳥・花・木

平成27年2月13日(金)
第5回再生可能エネルギーと
スマートコミュニティ研究会

板橋区の取り組みについて

1. 板橋区の概要
2. いたばし未来創造プラン(平成25年1月)
3. スマートシティ検討調査報告書(平成26年7月)
4. 板橋区におけるスマート化の取組
5. 都市再生に向けた板橋区のまちづくり
6. これからの予定



いたばし観光
キャラクター
りんりんちゃん

1

1. 板橋区の概要

①板橋区の位置



区の鳥・花・木



2

1. 板橋区の概要



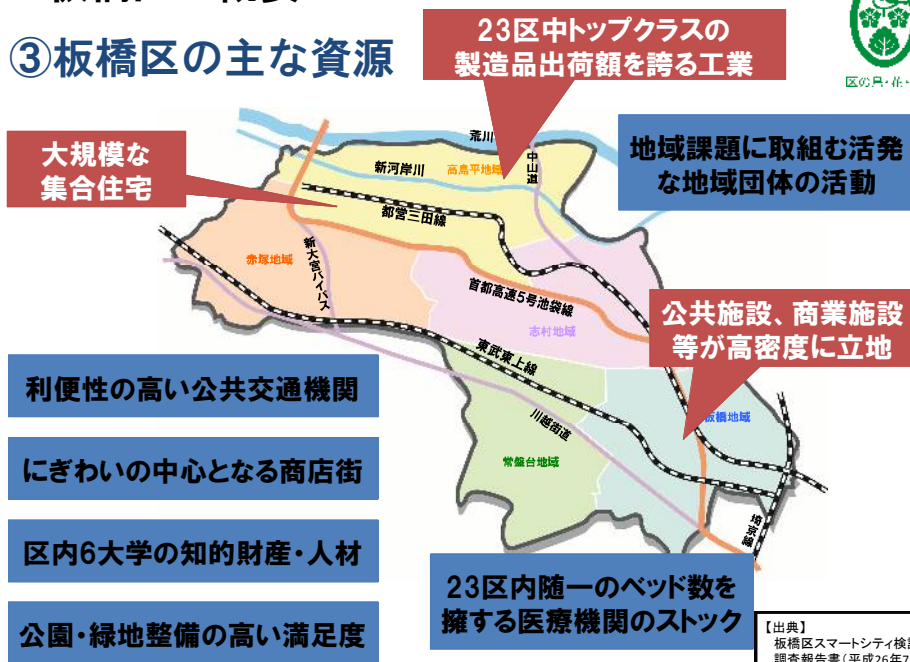
②板橋区の概要

- 自治体種別 特別区
- 面積 32.17 km²
- 人口 543,669 人 (平成26年11月1日現在)
- 世帯数 286,271 世帯 //
- 予算規模 1,915億5千万円 (平成26年度一般会計予算)
- 区政施行 昭和7年10月1日
- 産業
 - 農業 2.4ha (農地面積)
 - 工業 3,994億円 (平成24年度製造品出荷額等)
 - 商業 1兆4,104億円 (平成24年度販売額)

3

1. 板橋区の概要

③板橋区の主な資源

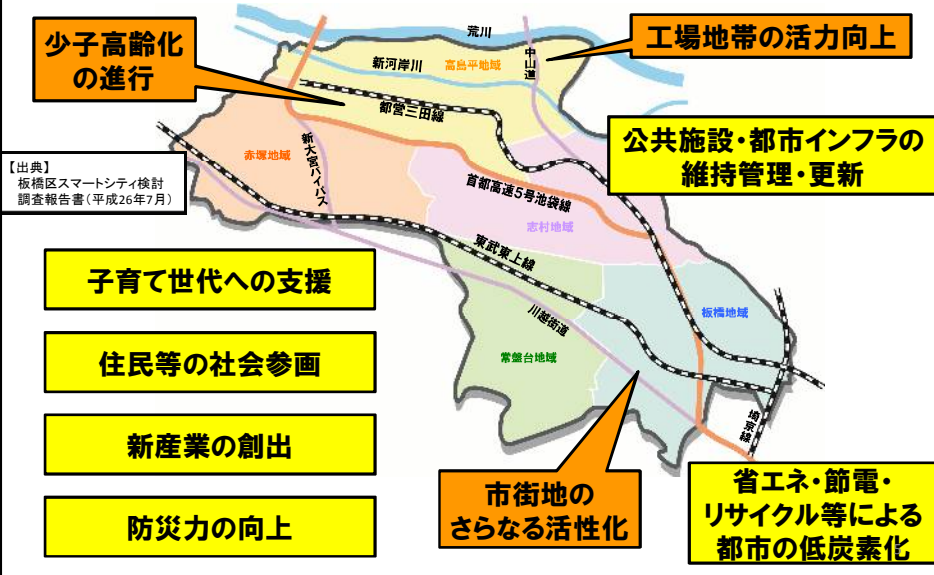


1. 板橋区の概要

④板橋区の主な地域課題



区の花・木

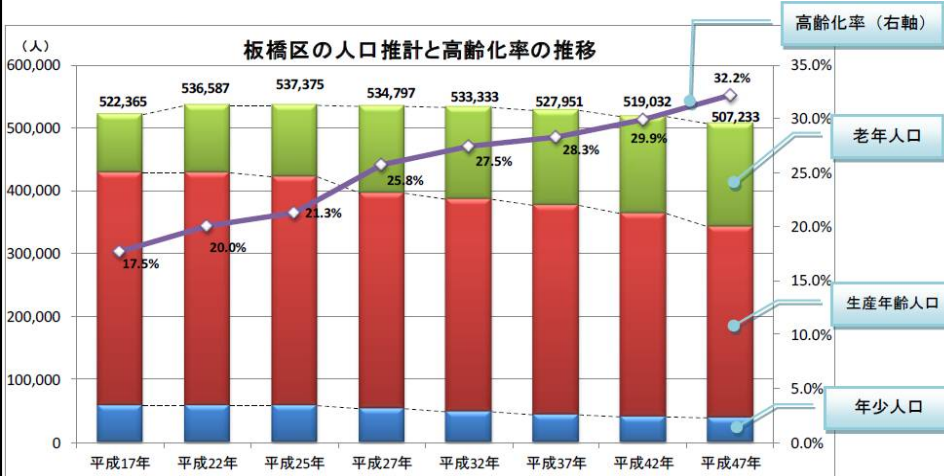


1. 板橋区の概要

⑤板橋区の人口推計と高齢化率の推移



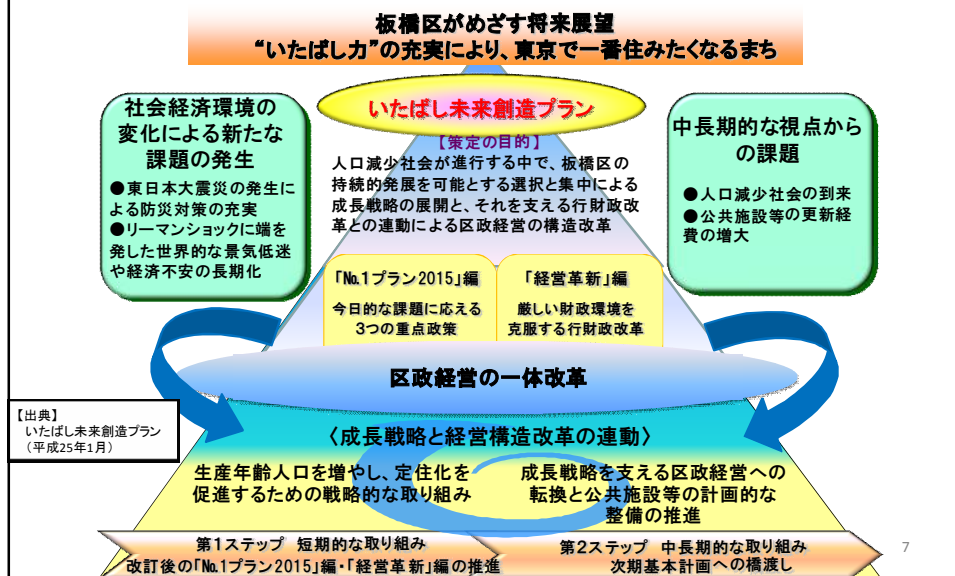
区の花・木



※ 平成 25 年までは板橋区住民基本台帳(平成 17 年・22 年・25 年は 1 月 1 日現在)、平成 27 年度以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」(平成 20 年 12 月公表推計値)による

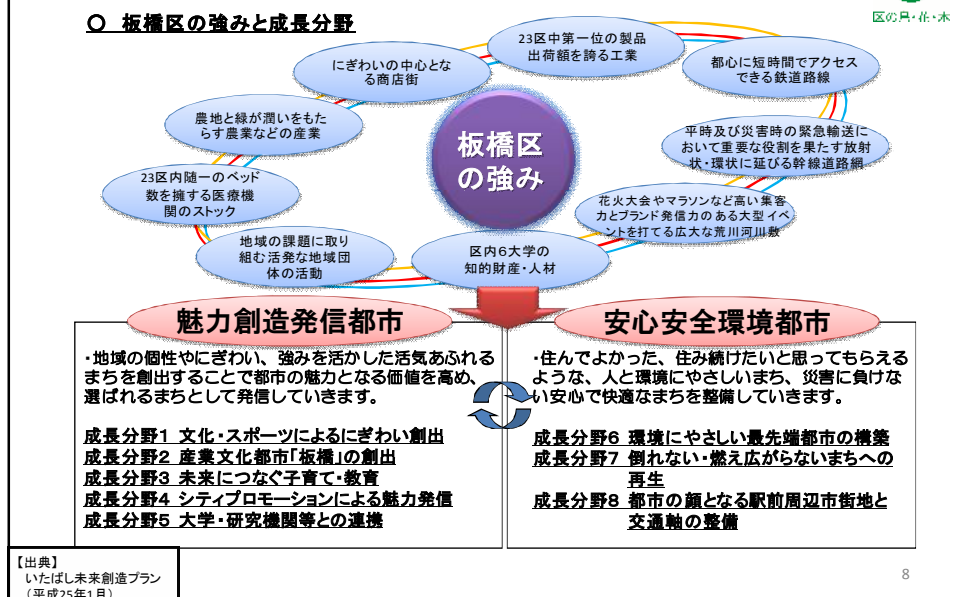
2. いたばし未来創造プラン(平成25年1月)

①プランの概要と構成



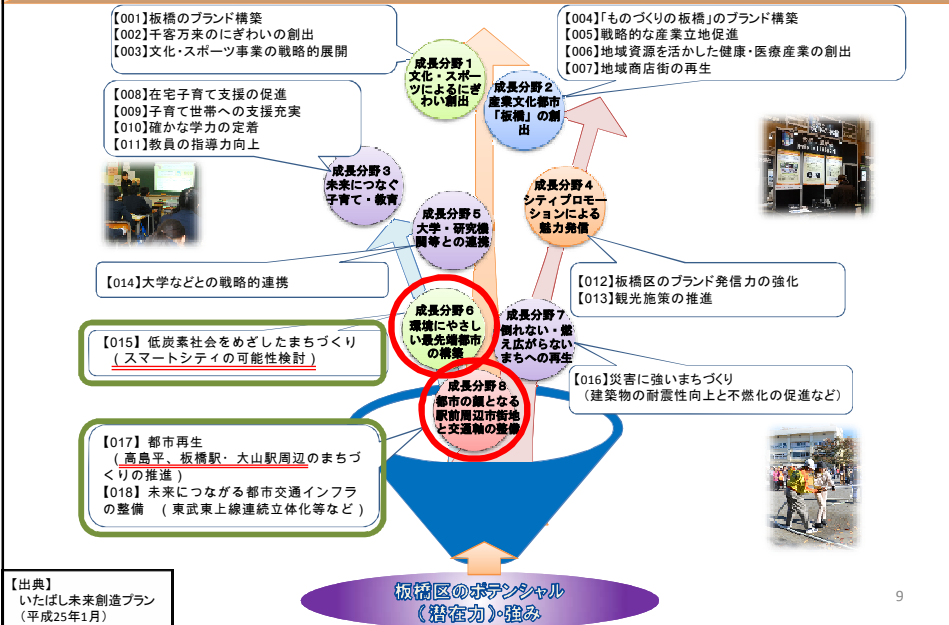
2. いたばし未来創造プラン

②板橋区の強みを活かした成長戦略の展開



2. いたばし未来創造プラン

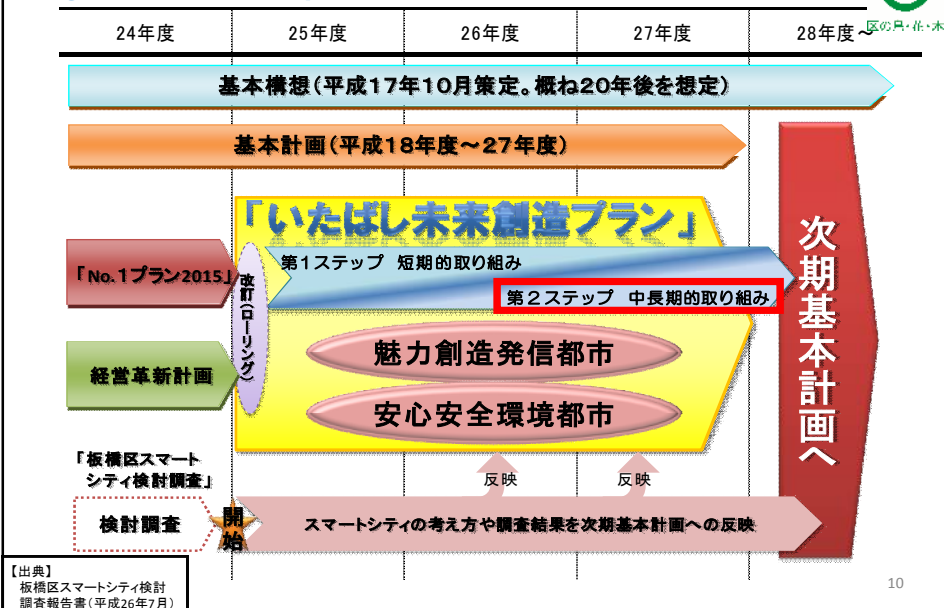
8つの成長分野に対し、経営資源を振り向け、魅力あるまちづくりを積極的に進める成長戦略を構築



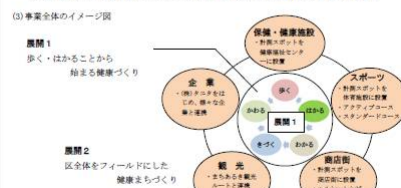
9

2. いたばし未来創造プラン

③行政計画との関係と次期基本計画への反映



10



4. 板橋区におけるスマート化の取組



あたたかい人づくりに参画

★ 区長のいち押し事業

学校のICT環境を整備し、教育力の質を向上
～区立小・中学校に機器を導入、教職員の研修を強化～

事業名	板橋区教育ICT化推進事業
概要	板橋区では「板橋区教育ICT化推進計画」を策定し、授業理解の促進や知識習得への興味の高まりを図ることを目的に、ICT機器を効果的に活用して魅力ある授業を実現していきます。また、児童・生徒と向き合う時間を確保するため、授業準備段階に向けた取り組みにも積極的に関わることによって「教育力の質の向上」を図ります。さらに、本年4月に開設する教育支援センターを中心に「教育の情報化」を推進します。
1 総額約40億円をかけて教育のICT化を推進！	学校ICT環境の整備を計画的に進めるため「板橋区教育ICT化推進計画」を策定しました。平成27年度～平成30年度の計画期間（4年間）において、総額約40億円をかけてICT機器の整備や教職員の研修強化など、学校を取り巻くICT環境の整備を着実に進めます。
2 全小・中学校すべての普通教室に約1,000教室に電子黒板を導入！(ICT機器等の整備)	ICT活用推進計画における授業改善 平成27年度に全小学校、平成28年度に全中学校の全ての普通教室に、電子黒板等のICT機器を整備します。全ての普通教室に常設することで、教員にとって負担なく授業で活用することができ、また、今後パソコン教室の増設にあわせて、タブレットPCの導入及び無線LANを整備します。これにより、全普通教室に先行整備した電子黒板等のICT機器とあわせて授業を行います。
3 4月オープン！授業改善のための教育支援センター	平成28年度にICT実証実験校を指定し、ICT機器を活用した授業研究に取り組みしています。教育支援センターが設けられ、教員のICT活用指導力向上のための研究や、実践的な研修を行います。教育支援センターでは、メディアセンターを設置し、ICT機器を活用した授業研究や授業教材の作成ができるスペースを整備します。



3つのナンバーワンに挑みながら

★ 区長のいち押し事業

待ちに待った区役所本庁舎のグランドオープン！
～都内初の新スペックも搭載、区民サービスと魅力発信を強化～

事業名	板橋区役所本庁舎改修(魅力発信)「ギャラリーモール」開設、「受付案内システム」本稼働
概要	板橋区役所本庁舎は全ての改修を終え、誰もが使いやすいユニバーサルデザインに配慮した庁舎として、本年4月にグランドオープンを迎えます。北館1階に設置される情報発信拠点「ギャラリーモール」や、「受付案内システム」の本稼働、改修された南館に設置された「教育支援センター」や「防災支援センター」などの新たな機能により、区民サービスの大幅な向上を実現します。
1 背景	板橋区役所 本年11月から 内部改修工事 4月から新
2 内容	「11月の改修工事」 「待ち時間」 「受付案内」 「教職員の指導」 「防災支援」 「新防災」
3 水戸開館	水戸開館は、イヤーの第一区役所内において、空間デザイン戦略による力を示すこと
4 誰もが使いやすい「ユニバーサルデザイン」に配慮した庁舎	(1) 来庁された方を目的地へと案内、誘導するためのサイン計画を一新します！具体的な色、字体等について「板橋区バリアフリー推進協議会」とも協議を重ね、北館と南館を一体的に案内するための連続性のあるサインシステムとすることを決定しました。誰にでも、見やすく、わかりやすく、快適に感じられるサインとします！ (2) 狭いスペースを人工工芸やファンタジーイメージの考え方に基づき、将来を見据えたレイアウトのスタンダード化や、ユニバーサルデザインの導入により、効率的な業務空間を実現します。教職員の効率化や生産性の向上を図るとともに、職員の仕事スタイル改革や環境改革による「ワークプレイノベーション」を促し、区民サービスの更なる充実につなげていきます！



5. 都市再生に向けた板橋区のまちづくり



成長分野8 都市の顔となる駅前周辺市街地と交通軸の整備

事業地域の位置

戸田市

和光市

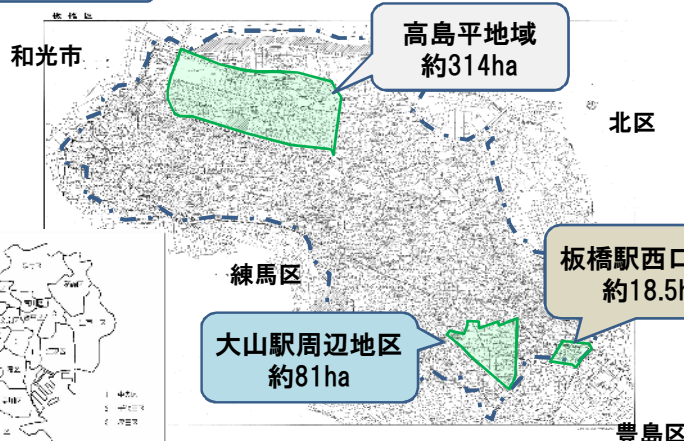
高島平地域
約314ha

北区

板橋駅西口地区
約18.5ha

大山駅周辺地区
約81ha

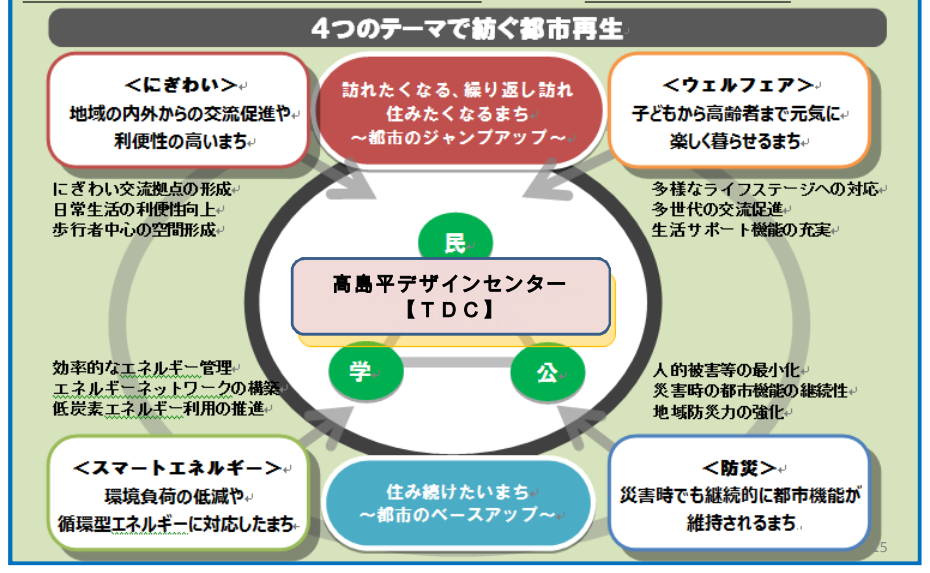
豊島区



5. 都市再生に向けた板橋区のまちづくり

①高島平地域グランドデザインの策定(平成26年4月より策定開始)

3 将来像の実現のための4つのキーワード(テーマ) (P5) と4 一体的なマネジメント (P6)



5. 都市再生に向けた板橋区のまちづくり

②東武東上線大山駅周辺のまちづくり

大山まちづくり総合計画

文化交流拠点に相応しい、交通基盤整備や鉄道立地により利便性に優れた
誰もが暮らしやすく、にぎわいに満ちた安心安全なまち ～大山～



大山駅周辺のまちづくりについて

区は、大山駅周辺地区のまちづくりを総合的に推進するため、行政計画として「大山まちづくり総合計画」を平成26年3月に策定しました。この計画に基づき、鉄道による市街地分断の解消や補助26号線の整備と沿道のまちづくり、駅前広場の整備の検討などの取り組みを進めています。

東京都は、都議会において大山駅付近を連続立体交差事業の「事業候補区間」に位置付けることを表明しました

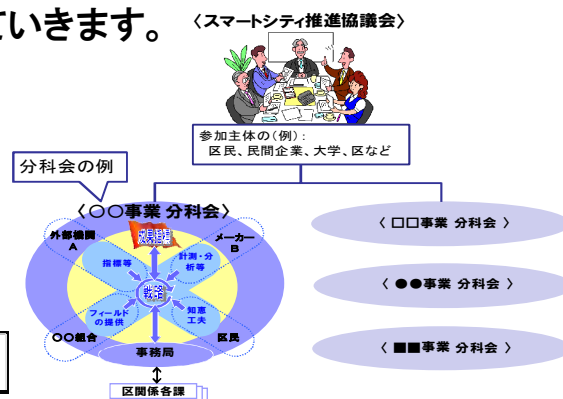
都は、板橋区の策定した「大山まちづくり総合計画」により、地元のまちづくりの方向性が定まったことから、平成26年9月25日に行われた都議会本会議において、東武東上線大山駅付近を連続立体交差事業の事業候補区間に位置付け、事業範囲や構造形式などの調査・検討に着手することを表明しました。

平成26年3月
板橋区

6. これからの予定

- 区では、平成27年度より「スマートシティ協議会（仮）」の設立に向けた取組を開始する予定です。
- 協議会の設立に向けては、国や都を始め、大学、企業、区民など、様々な主体との連携を図り、既成市街地におけるスマートなまちづくりをより具体的に推進していきます。

〈スマートシティ推進協議会〉



【出典】
板橋区スマートシティ検討
調査報告書（平成26年7月）

17

（参考）岩手県釜石市における事例

①釜石市スマートコミュニティ推進協議会

【目的】民間による事業化を喚起するための推進体制を整備する必要があるため。

【役割】釜石市スマートコミュニティ基本計画の進捗管理を行い、産・官・学・市民が一体となり、具体的な事業化をめざす場としての機能を果たす。推進体制の中心として設置。

- 1) 計画全体の進捗状況確認
- 2) 各施策の具現化（主に民間主導の事業）
- 3) 市への提言
- 4) 市民、事業者への情報発信
- 5) 将来的には、法人化をめざし、国・県の補助金の受け皿、協議会自身による事業化
- 6) 将来的には、市内のスマコミ事業のコントロールセンター化（シンクタンク機能）

【主体】市民、市民団体、事業者、教育機関（大学等）、市

【特徴】事業化を志す市民団体や事業者等に広く開かれた組織とする。事業化に向けた議論やネットワーク形成を促進するために、分野ごとに分科会を設けている。

②釜石市スマートコミュニティコンソーシアム（集合体）

【目的】企業・団体が、具体的な事業を市及び協議会に提案できる仕組みを構築するため。

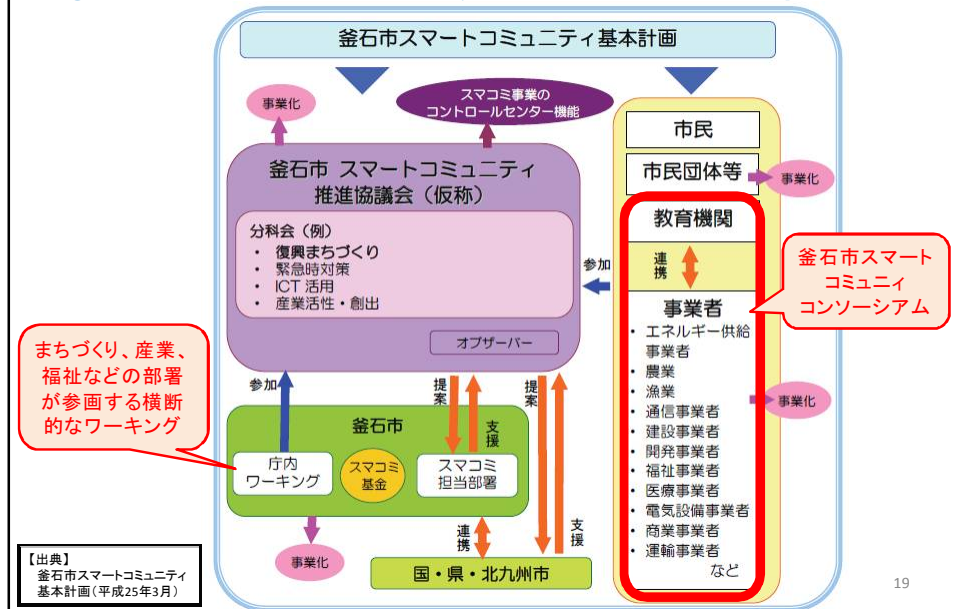
【役割】釜石市スマートコミュニティ基本計画の進捗管理を行い、官民一体となって、具体的な事業化をめざす場としての機能を果たす。推進体制の中心として設置。

【主体】釜石市スマコミに関する事業実施者、又は事業実施意欲のある企業・団体等、スマートコミュニティに関する学識経験者

【特徴】市がコンソーシアムに参加を希望する企業・団体を募集・審査し、会員に認定する。

(参考)岩手県釜石市における事例

③民間による「事業化」を喚起する推進体制の概念図



ご清聴ありがとうございました

板橋区 資源環境部 環境戦略担当課

